

都市史

# 板橋宿の時代的变化と その特徴

Team on time

17n1017 岡田彩音      17n1058 関根康成

17n1064 高木夏奈子    17n1071 田島悠貴

17n1086 半田政人



# 目的

江戸時代から現在まで約**400**年続く板橋宿の宿場町における役割の時代的变化を通して、その特性を探る

# 江戸五街道



## 中山道

南回り・太平洋沿岸経由の東海道  
に対し、北回り・内陸経由で江戸  
と京都を結ぶ街道。





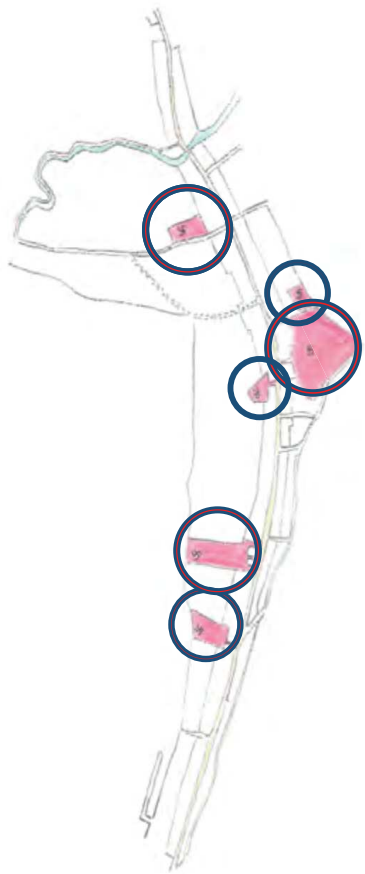
## 江戸四宿

- ・品川宿、千住宿、内藤新宿、板橋宿の四つの宿からなる。
- ・江戸4宿は、江戸から出る人々と江戸へ入る人々が行き交う場所。
- ・茶屋餅菓子屋蕎麦屋酒屋など多くの飲食店がある。
- ・宿泊機能としては旅行者の休息のために木賃宿や旅籠屋がおかれていた。

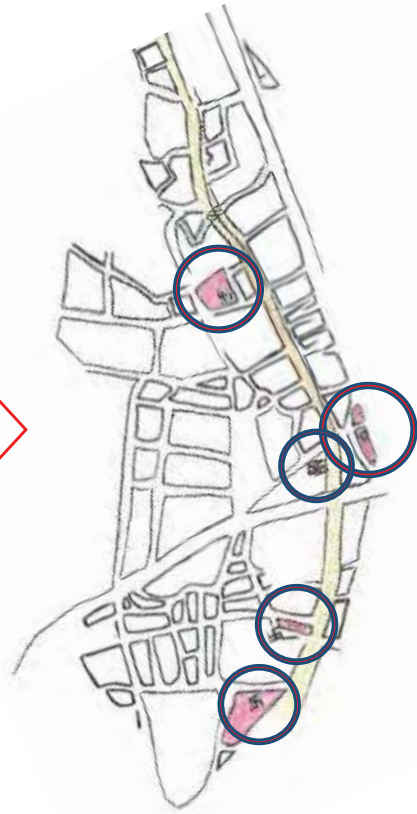
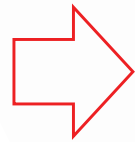


## 板橋宿

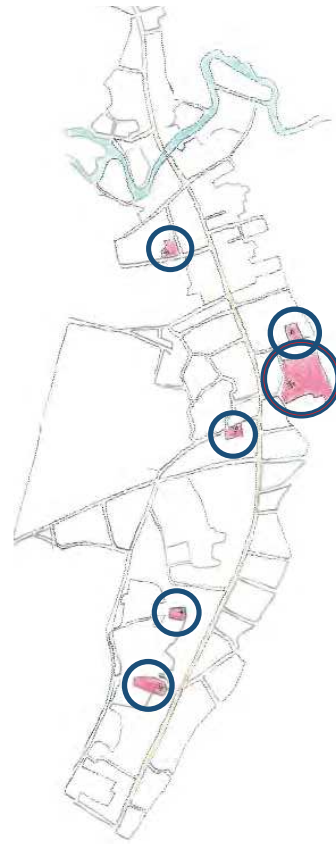
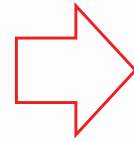
- ・1674年に宿高。
- ・中山道六十九次のうち江戸・日本橋から数えて1番目の宿場。
- ・川越街道の起点である。
- ・橋の北西側が上宿、南東側が中宿で、中宿のさらに南東に平尾宿が続き、この3宿で宿役を負担していた。



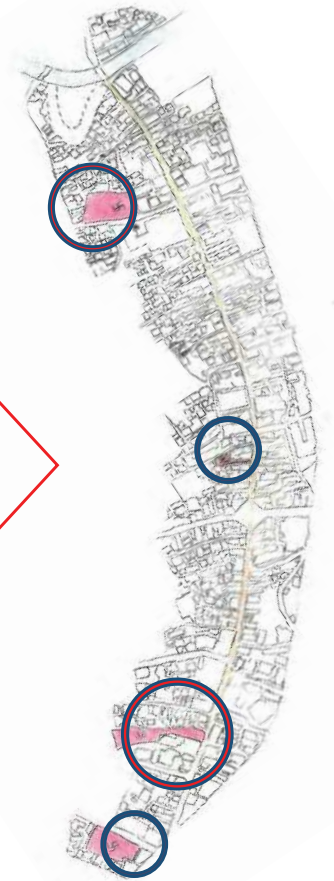
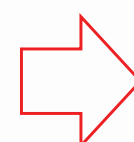
江戸



明治



昭和



現在

道沿いに寺院が多いことに着目

# 東光寺



境内：七一三平方米(二一六坪)  
宗派：浄土宗

## 役割

加賀藩の境内から出入りするための門としての機能を果たしていた。



もとは船山というところにあったが、一六七九年に現在地に移転したといわれている。移転当時は境内も広くにぎわっていたが、その後時代の変遷に伴い境内は縮小され、記録や寺宝は度重なる火災によりほとんど喪失してしまった。

# 観明寺



境内：一五一八平方米（四六〇坪）  
宗派：真言宗 豊山派

## 役割

東光寺と同じく加賀藩の境内との出入りをするための門であった。



創設は暦応元年(一三三八)と伝えられている。昭和五八年区の有形文化財に指定された。また、当時は盛んな縁日であったが、今日はそれほどではない。



# 乗蓮寺



境内：一六五〇〇平方米(約五〇〇〇坪)  
宗派：浄土宗



乗蓮寺は明治十七年の板橋宿大火によって全焼した。そして、戦中から戦後にかけて、道路の拡張により、寺域が半減し、現在地旧赤塚城二の丸に移転した。昭和四十六年より七か月の歳月を費やして全山の移転が完了した。そして、本堂、閻魔堂は鉄筋コンクリート造となっている。

## 役割

一七四三年に八代将軍吉宗が鷹狩の際に雨宿りしたことから、将軍の休憩御膳所に指定され、御成門や御座所が設けられた。



# 遍照寺



境内：五三八平方米(一六二坪)  
宗派：真言宗 智山派

## 役割

境内は江戸時代の馬つなぎ場でいろんな種類の馬が繋がれていた。



明治四年の廃仏毀釈の際に廃寺となり、しばらく天台宗大日堂として残置された。そして、明治十四年に渡辺主監が「旭不動」と称した。そののち、照賢により昭和二十二年十二月に旧の「遍照寺」が復活して今に至る。

# 文殊院



境内：一二二一平方米(三七〇坪)除墓地  
宗派：真言宗 豊山派

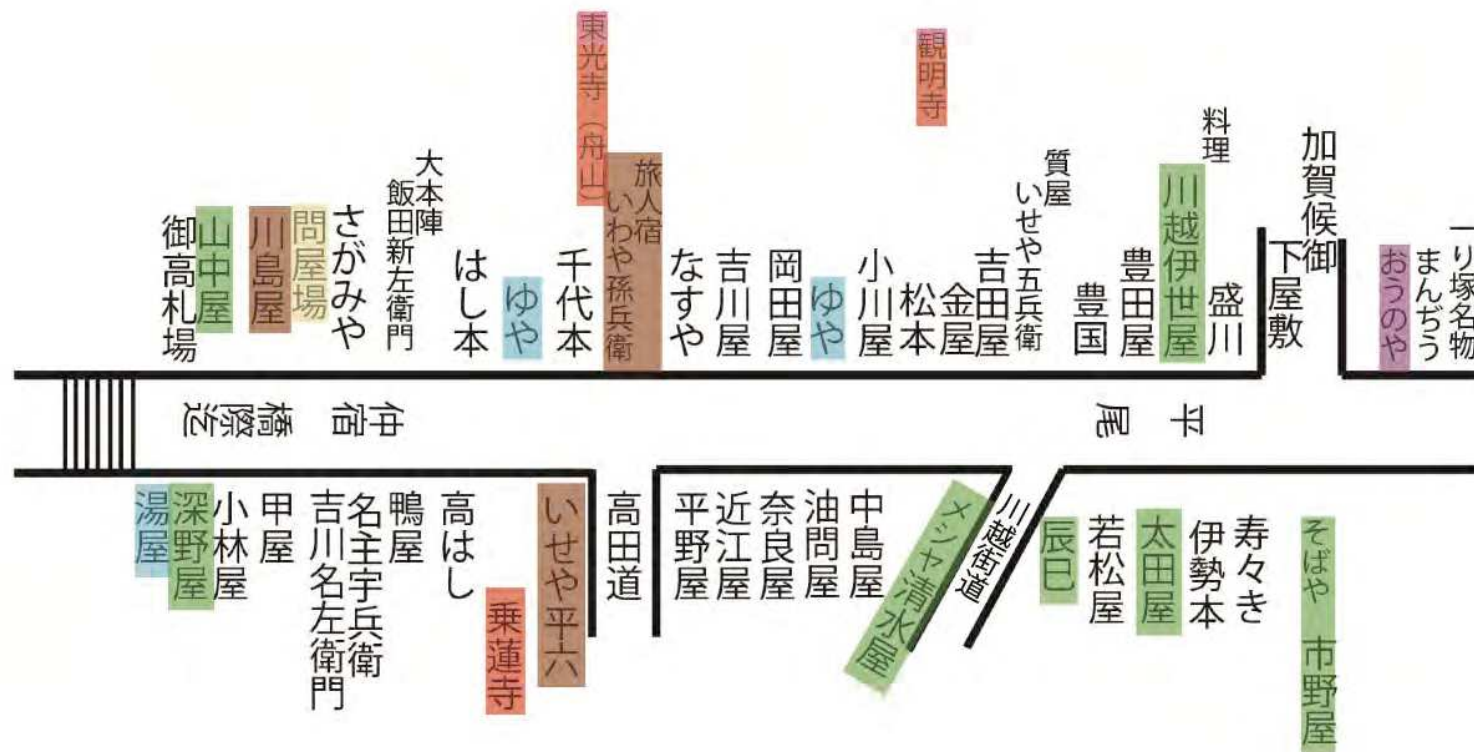
## 役割

板橋宿の名主、本陣の飯田家の菩提寺として、周りからの信仰を集めていた。



天保六年の全焼に続き、火災や風害にあい、建物古記録等を焼失してしまった。昭和十五年に旧来の本末の関係を打ち切り、奈良県の総本山長谷寺に直属した。文殊院には旧家、飯田一族の始祖の墓所がある。

# 江戸時代の板橋宿



N ←

- 食料品
- 宿泊
- 寺院
- お菓子屋
- 湯屋
- 御飯処





宿駅としての機能が無くなり主要道路が移ったにも関わらず、  
なぜ現在も廃れることなく商店街として残っているのだろうか。

# 鉄道開通への反対

「鉄道の開通によって、それまで板橋の経済的な基盤となってきた宿駅の機能が脅かされると判断した住民は敷設反対の声をあげ、その結果、当初の計画が変更され、板橋を避けて王子・赤羽を経由する上野-熊谷間の鉄道が明治16年に開業された。」

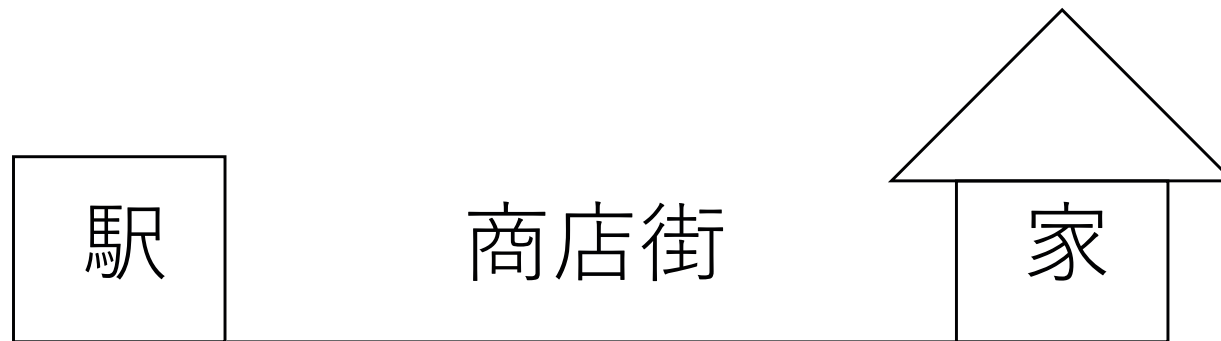
(板橋宿の歴史と史料－宿場の町並と文化財－ 板橋区教育委員会 より引用)

駅ができることによる商店街の分断は避けられたのではないか。

# 駅、商店街、家の配置関係

駅—商店街—家 という、現代では理想とされるスタイルが形成されたため、

交通量が減り主要道路が変わってもなお栄えたのではないだろうか。





# まとめ

交通手段の変化、交通網の発展により、  
主要道路が旧中山道から現在の中山道（国道17号）に移行したが、  
駅、商店街、住宅の位置関係が、  
昔から続く板橋宿の活気を今日に伝える仲宿商店街を作り上げた

## 参考文献

板橋区史

板橋宿の歴史と史料  
(板橋区教育委員会)

いたばしの寺院  
いたばしの地名  
(板橋区立郷土資料館)

## 参考資料提供

板橋区立公文書館